

會 報

第 一 号

— 昭和29年7月6日報 —

北 海 道 土 木 技 術 会

34
27
775

会 報 第 1 号

昭和29.7.6

北 海 道 土 木 技 術 会

＝ 目 次 ＝

1	設立総会及びオ一回理事会開催状況とその結果	1
(1)	会員の区分について	1
(2)	会費の区分について	1
(3)	研究委員会の構成	1
A	道路凍上防止対策研究委員会	1
B	寒地瀝青合材の配合に関する研究委員会	2
C	コンクリート腐蝕に関する研究委員会	2
D	長期融資金対象機種（建設機械）選定に関する調査	2
E	ローラの改良に関する研究	3
2	寒地瀝青合材の配合に関する研究委員会	
	オ一回開催状況とその結果	3
3	研究課題の提出について	4
4	会費納入について	4
5	特別賛助された諸団体について	5
6	新会員の加入申込みについて	5

1. 設立総会及び第1回理事会

本会の設立総会は6月9日午後7時から札幌市水産会館において予定のとおり開催された。

会員総数現在287名の内出席会員50有余名、土木試験所伊福部宗夫氏の司会進行、前科学技術連盟土木部会々長高橋敏五郎氏より本会設立に至るまでの経過報告、次いで北大大坪喜久太郎氏が座長に推され会則の審議、及び新役員の選出に移り、新会長に本道技術会の長尾奇藤静脩氏、副会長には眞井耕象氏(北大)及び小川譲二氏(開発局)、又理事及び幹事は別冊名簿のとおり、柯れも満場一致を以つて選出された。

続いて新会長が議長席につき諸件案の審議がなされたが、満堂は終始熱意に溢れ、新発足にふさわしい積極的意見が活発に続出し、発起人一同をして感激せしめ、午後5時盛會裡に終了した。

なお総会終了後引続いて第1回理事会を開催して、各研究委員会の構成について審議し、別項のとおり決定をみ、直ちに委員会活動が開始されることとなつた。

この日総会及び理事会において決定をみた主なる事項は次のとおりである。

(1) 会員の区分について

会員を正会員と賛助会員に分けることとし、規約第5条に、「個人は正会員、団体は賛助会員とする」と追加すること。

(2) 会費の区分について

「正会員は年額200円、賛助会員は年額5,000円又は3,000円と区分することとし、規約第6条の一を改正すること。

(3) 研究委員会の構成

A 道路凍上防止対策研究委員会

委員長 眞井耕象(北大)	幹事 伊福部宗夫(土木試験所)
委員 板倉忠三(北大)	久世秀明(土木試験所)
高橋敏五郎(札幌開発建設部)	上戸斌司(開発局)
宮川勇(土木試験所)	川山道義(土木試験所)

武山宏志（札幌開発建設部） 古山剛三（土木試験所）
入江恒（札幌土木現業所） 瀬藤智雄（北海道土木部）
柳内泰夫（札幌市建設部） 卷下乙四郎（日本道路）
土屋忠（日本舗道）

B 寒地瀝青合材の配合に関する研究委員会

委員長高橋敏五郎（札幌開発建設部） 副委員長板倉忠三（北大） 幹事菅原照雄（北大） 太田誠一郎（室蘭工大） 岡本剛（北大） 中島照雄（北大） 上戸弼司（開発局） 瀬藤智雄（北海道土木部） 入江恒（札幌土木現業所） 紙谷卓治（札幌市建設部） 武山宏志（札幌開発建設部） 小山道義（土木試験所） 古山剛三（土木試験所） 卷下乙四郎（日本道路） 土屋忠（日本舗道） 川上忠雄（日本道路） 斎藤誠司（大成建設）

C コンクリート腐蝕に関する研究委員会

提案者 横道英雄氏欠席のため、次回理事会において決定する。

D 長期融資金対象機械（建設機械）選定に関する調査

青藤静脩氏の提案であつて、採択することに決定し、現在考えられているこの調査項目は、

- I 現在道内土建業者所有の機械類の調査
- II 道内建設工事には非必要な機械類及びその価格の調査
- III 長期融資金対象機械の限度の調査
- IV 機械類修理に関する調査
- V 原価消却に関する調査
- VI 機械賃借料に関する調査

等である。

なお、これらの調査は、財団法人建設機械化協会北海道支部の協力を得て行う予定であつて詳細は次回理事会において具体化する。

E ローラーの改良に関する研究

提案者は北大板倉忠三氏であるが、これも次回理事会において決定する。

2. 寒地瀝青合材の配合に関する研究委員会第一回開催状況

開催日時及び場所 6月29日 午後2時～4時

於 北大工学部会議室

出席者 高橋敏五郎。板倉忠三。岡本剛。太田誠一郎。
中島昭雄。千葉静男。入江恒。紙谷卓二。武山
玄志。小山道義。古山剛三。巻下乙四郎。菅原
照雄。山本清助。の各氏。

本委員会の研究要点について委員長高橋敏五郎氏より大要次のとおり説明あり。

- (1) 凍上対策として路盤の入換を激重に施工し、これに投ずる工費が大であるから、表層を瀝青質として鋪装単価を少なくすることが必要である。従つて寒地の鋪装は瀝青質でなければならない。
- (2) 一方建設省はコンクリート鋪装を推奨している現状であつて現地の意見とは逆である。
- (3) 昨年施工した国道36号線、札幌、千代間の瀝青表装は冬季交通のタイマーチェンにより、剥離甚しく、その対策が確立されなければ、瀝青鋪装の適否に大きな暗影を投げかけている。これが現地の要望する研究のテーマである。
- (4) 今年2月この表層の補修工法として軽重油により、カットバックした瀝青塗装の中には、相当効果を發揮したものがあり、これが適切な配合の究明は本問題解決のキーの鍵である。
- (5) 寒地鋪道においては、凍上の絶滅は期し難く、凍上に対する瀝青鋪装の靱性と夏季の安定度の関係について研究が必要である。

以上を中心課題として、委員相互に意見の交換が行われたが、そ

の結論として、

- (1) 前項(3)~(5)の問題を重点的に取挙げること。
- (2) タイマチエーンによる鋪装体の摩損剥離試験機を試作すること。
- (3) 表層処理のカットバック剤、または溶剤の種類及び濃度、バインダーの研究をすること。これについては、パルプ廃液を研究すること。
- (4) ゴム入アスファルトの配合及び低温度の諸性質を究明すること。但し低温度における瀝青合材の性質究明については、一部分板倉研究室に実験データがある。
- (5) ビーム安定度試験機の購入発注をすること。
- (6) 札幌、千代間の剥離摩損に対する、表面塗装処理施工の効果検討を、実地について研究すること。

以上に基き、鋪装体の摩損剥離試験機の設計及び製作について、7月ノ日藤屋鉄工所に依頼した。又札幌、千代間の実地研究会は7月5日に行われた。結果は後報する。

3. 研究課題の提出について

7月中旬に才2面目の理事会を開く予定ですから、それまで研究課題のある方は、大小に拘らず、事務局までお知らせ下さい。

4. 会費納入について

(1) 納入方法は

本会に振替口座(小樽4356)を設けたので、別紙同封の振替用紙(送料は本会負担)によるか、又は事務局へ直接持参される等適宜の方法によつて下さい。

(2) 会費の区分は

正会員	年額 200 円	賛助会員	年額 5000 円
			又は 3,000 円

(3) 会費納入期日

八月末日まで

(4) 納入されるときの会員区別についてお願い

別項のとおり規約が改められて、正会員と賛助会員に区別されることになったので、会社代表者等であつて現在個人として入会されている方で、賛助会員として御援助願える向は、事務取扱い等の都合がありますので、その旨を、会費納入のときにお知らせ願います。

5. 特別賛助された諸団体について。

本会の設立当初に於て、格別なる御篤志をもつて、早速に基金の御援助を寄せられた諸団体は次のとおりであつて、茲に謹んで深甚の謝意を表します。

なお、これら諸団体よりの拠金は、本年度分「賛助会費」として受納させていたゞくと共に本会「賛助会員」として幸い御入会いただきたいと思ひますので、将来共よろしく御助力の程お願い致します。

団体の御名称(順不同)

北海道土建連合協会。北海道建設業信用保証会社。大成建設株式会社札幌支店。伊藤組土建株式会社。不動建設工業株式会社。株式会社田中組。株式会社地嶋組。鹿島建設株式会社札幌支店。株式会社大林組札幌支店。日本鋪道株式会社札幌支店。日本道路株式会社札幌支店。岩田建設株式会社。菅原建設株式会社。北拓建設株式会社。秋島建設株式会社札幌支店。木田建業株式会社札幌支店。清水建設株式会社札幌支店。鉄道建設興業株式会社札幌支店。鉄道工業株式会社札幌支店。株式会社熊谷組札幌支店。株式会社中山組。

6. 新会員の加入申込みについて

本会の趣旨に賛同され、新しく加入希望の方は、資格や条件は

何もありませんので、口頭又は書面で争務局までお申込み下さいば、会員として受理します。

なお、本会設立当初の御案内にあたって、手元資料がととのわないため、御芳名残れの方も多々あり、遺憾に思っています。

(文責・山本幹事)

① 争務局所在 札幌郡豊平町字平岸中の島 土木試験所内